

科目名	新たな価値を生み出す能力・アントレプレナーシップ
-----	--------------------------

担当 責任者	山本 昭二	所属	医学教育センター	職名	特別招聘教授
-----------	-------	----	----------	----	--------

到達目標 (アウトカム)	アントレプレナーシップは、イノベーションを連続的に実現していくための資質としてとても重要なものです。実践的な試みを通してアントレプレナーシップがどのような様に発揮され、企業や組織を発展させてきたのかを学びます。
-----------------	---

【1. 授業概要】

<p>本講義では、まず社会科学がどのような学問体系と目的を持っているのかを簡単に説明する。アントレプレナーシップは、経営学の中でも比較的新しい研究分野であり、新しい企業や組織を作り出す際に見られる一般的な事象を元にして成功したアントレプレナーシップの条件や人材の育成に関する研究が行われてきている。</p> <p>彼らの役割は、社会に新しいアイデアと実践でより質の良い製品やサービスを優れた生産性で提供することを可能にします。その役割は新しい事業を興すだけでは無く、企業や組織内での革新を通して新製品の開発、組織の変革を行うことで、企業や組織の継続的な成長に寄与することが出来る。</p> <p>本講義では、教科書を参照しながら実際に新製品開発に従事しているゲストスピーカーのお話しを通して具体的な事例を学びます。3名のゲストスピーカーの経験を理解することで受講生がアントレプレナーシップを発揮する際の要点を理解する。</p> <p>講義の中で、3名の方のお話しをうかがう予定にしています。また、グループワークでのレポート作成が行われる。</p>

【2. 履修学生の心構え】

<p>受講者は、学習するに当たって事前に資料を配布するので目を通しておいて欲しい。また、講義ではグループワークを通してレポートの作成を行う予定にしている。受講生が将来医療機関等で仕事に従事したり、自らが診療所を運営するなどの事業を展開する際のイメージを持てるように学習に臨むことが求められる。</p> <p>また、企業の実践が中心となるので、医療現場にかかわらず多様な仕事のやり方や考え方を理解することを目標としているので積極的な授業での参加を期待している。</p>

【3. 成績の評価方法・基準】

<p>本講義では、授業参加、ゲストスピーカーの提供する実践に関するレポート3つとグループで行われる最終レポートで評価を行う。</p> <p>評価は次の通りである。</p> <p>授業への参加の程度 (20%)</p> <p>ゲストスピーカーの3名のレポート (30%)</p> <p>グループ研究のレポート (40%)</p> <p>グループ研究のプレゼンテーション (10%)</p>

【4. 教科書・参考書】

山田幸三、江島由裕、1からのアントレプレナーシップ〈第2版〉、中央経済グループパブリッシング

【5. その他 履修要件、履修者へのコメント等】

授 業 計 画 (月曜開講分用)

実施日	時 限	講義・実習内容	担 当 教 員		
			氏 名	職 名	所 属
4/13	月 5	イントロダクション 社会科学の役割	山本 昭二	特別招聘教授	医学教育センター
4/20	月 5	起業家の系譜 本田宗一郎、中内 功	山本 昭二	特別招聘教授	医学教育センター
4/27	月 5	エフェクチュエーションの論理	山本 昭二	特別招聘教授	医学教育センター
5/11	月 5	ゲストスピーカー 廣瀬智一氏 起業支援の実際	山本 昭二	特別招聘教授	医学教育センター
6/8	月 5	ゲストスピーカー 近藤由佳氏 企業内のイノベーション	山本 昭二	特別招聘教授	医学教育センター
6/15	月 5	ゲストスピーカ 林笑美子氏 起業とエフェクチュエーション	山本 昭二	特別招聘教授	医学教育センター
6/22	月 5	イノベーションの論理	山本 昭二	特別招聘教授	医学教育センター
7/6	月 5	ソーシャルアントレプレナーとクラス発表	山本 昭二	特別招聘教授	医学教育センター

↑
 1
 2
 3
 4
 全
 8
 回
 5
 6
 7
↓